

ひとりで立ち上がることすらおぼつかなくなった人間は、杖をついてでも歩いていきたいと願う。そんな人間のそばに、介護職は彼らの杖となり、ともに生きていくことになる。だけれど、介護職は『ただの杖』ではない。ともにご飯を食べて、唄い、笑い、地団駄を踏み、悔しがり、喜びに浮かれ、興奮し、ふさぎ込み、また笑う。そんな最後の日々をともに過ごす杖であり、人間が老いさらばえた廃人とされることなく、人間として最後まで生きていくための『考える杖』である。そんな考え方に出会えたことで、老いていくことで失い、奪われゆく自由を支えたいと思っていた僕は、介護職として誇りをもって働くことができました。

それは、広島で生まれ育ち、介護から世界を思索し続けてきたひとりの青年が、変わりゆく時代の地下水脈で、老いていく人間と、その関係性を見つめ続ける中から湧き出てきた思索の結晶。半世紀の時を経て、時代のめぐりあわせか、団塊世代の最後の代弁者、最後の旗手となって、変わらぬ思いを伝えてくれます。

木更津での開催は6年ぶりとなるナイトセミナー

介護の哲人『三好春樹講演会』

～介護、希望の終焉～

三好春樹（みよしはるき）プロフィール

1950年、広島県生まれ。理学療法士。

特別養護老人ホームの生活指導員として勤務後、1985年に「生活とリハビリ研究所」を設立。介護現場に絶大な支持を得ている介護分野の第一人者。介護、看護、リハビリのみならず、医療や心理、思想領域にまで大きな影響を与えている。著書に「介護のススメ!：希望と創造の老人ケア入門（ちくまプリマー新書）」「関係書論（円窓社）」他多数。



令和5年8月1日（火曜日）18：30～20：30

木更津社会福祉会館研修室（定員50名）参加費無料

主催 ちば地域密着ケア協議会 運営事務局 縁側よいしょ(袖ヶ浦市)

申し込み受付 電話/ファックス 0438-75-2929(縁側よいしょ:伊藤宛)

申込代表者氏名（人数）	（ 人）
所属／職種等	